



食協ウチナ沖縄

Vol.19

発行：一般社団法人沖縄県食品衛生協会 〒901-2114 沖縄県浦添市安波茶 3-5-2-103
TEL.(098)871-1523 ホームページアドレス：http://www.oki-syokyo.or.jp
メールアドレス:syokukyo@circus.ocn.ne.jp

2024年11月



宮古島：与那覇前浜ビーチ

CONTENTS

- | | |
|---|--|
| ◆ごあいさつ(会長・佐久本 武)・・・・・・・・・・ 2P
(那覇市保健所 生活衛生課長 岸本 敦) | ◆釣ってきたその魚本当に食べて大丈夫？・・・・ 7P |
| ◆九州ブロック大会開催・・・・・・・・・・ 3P | ◆令和5年度・・・・・・・・・・ 8P
厚生労働大臣表彰
日本食品衛生協会会長表彰
日本食品衛生協会理事長表彰
厚生労働省医薬・生活衛生局長表彰 |
| ◆各支部活動(南支部)・・・・・・・・・・ 4P | |
| ◆ " (北部支部) | |
| ◆ " (那覇支部)・・・・・・・・・・ 5P | |
| ◆ " (宮古支部) | |
| ◆ " (中部支部)・・・・・・・・・・ 6P | |
| ◆ " (八重山支部) | |

会長あいさつ

一般社団法人沖縄県食品衛生協会

会長 佐久本 武



本年7月、十年ぶりに沖縄県で開催されました第65回公益社団法人日本食品衛生協会九州ブロック大会が開催されました。本大会は、関係各位と実行委員会に参集された皆様の御協力と献身的な活

動により、成功裏に終えることができました。実行委員長として衷心より感謝申し上げます。大変有難うございました。

大会終了後には、鶴飼日食協理事長をはじめ、九州各県の皆様方から讃けて御報告いたします。

制度化され、3年が経過しました。未だ、小規模事業所までこの制度化が行き渡っている状況とは言えず、HACCP義務化に向けて沖縄県内の食品事業者へのHACCPの普及推進を行政と我々食品衛生協会が一体となつて取り組むことが期待されます。

食品営業者は、食品安全体制の構築に向けて、食品衛生法の遵守の徹底を図るとともに、行政の皆様と車の両輪のごとく連携を

密にして各種事業に積極的に取り組んでいく必要があります。消費者が安心して食事を楽しめる環境の構築に向けて、今一度、業界全体で一致団結して、この環境の変化に対応してまいりましょう。

今年度も沖縄県食品衛生協会の益々の発展のため、皆様方の格別のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます、私のあいさつとさせていただきます。

ごあいさつ

那覇市保健所 生活衛生課課長

岸本 敦



一般社団法人沖縄県食品衛生協会は、昭和五十八年の設立を機にその後六支部が順次設立されて以来今日まで、沖縄県民をはじめ観光に訪れる方々の食の安全・安心を確保するため各種事業の普及・推進を図っております。

ことに敬意を表するとともに感謝申し上げます。

また、令和六年の今年は、十年ぶりの九州ブロック大会が本県で開催され、再び成功を成し遂げたことに心からお祝いを申し上げます。

さて、那覇市保健所は、平成二十五年の中核市移行から十年を経過し、より地域に密着した食品衛生の確保において取り組んでいるところであります。

食品衛生行政におきましては、食品の衛生規格基

準等が厚生労働省から消費者庁に移管される等食品衛生の科学的な安全の確保に向けて取り組みが強化されました。

本市におきましては、市内食品等事業者に対し令和元年度から貴協会とともに取り組んできましたHACCPに沿った衛生管理制度の導入及び普及につぎましては、当初の目標は達成できたものと認識しているところです。更なる取り組みとして、令和三年度からは当該制度の

実施を検証する事業を進めているところですが、困難な状況であることから、対策を構築するため貴協会との連携が必要不可欠となっております。

今後とも、佐久本武会長を筆頭に会員の皆様に対し、沖縄県及び本市の食品衛生行政への益々のご理解とご協力を賜り、食品衛生の維持向上に努めて下さいますようよろしくお願い申し上げます。

沖縄県で10年ぶりの九州ブロック大会開催

令和6年7月18日（木）沖縄コンベンションセンターに於いて第65回（公社）日本食品衛生協会九州ブロック大会が開催されました。



日本食品衛生協会理事長の挨拶の後、厚生労働省健康・生活衛生局長表彰があり、食品衛生の向上に貢献のあった方々14名を代表して沖縄県食品衛生協会八重山支部の奥平幸司氏へ表彰状が授与されました。沖縄県食品衛生協会からは、城間れい子氏が受賞されました。

その後、来賓の厚生労働省健康・生活衛生局長、沖縄県知事、宜野湾市長等からの祝辞が述べられた後に、特別講演、食品衛生指導員体験発表がありました。

次期開催地の福岡市支部長より挨拶があり、盛会のうちに大会の幕を閉じました。

また、大会に先立ち17日（水）にはロワジールホテル那覇にて指導員部会長会議、事務局会議、連絡協議会が開催されました。九州各県の指導員部会長、事務局長、会長が一同に会し、様々な議題を熱心に討議しました。





南支部

出張!

手洗い教室

令和6年6月10日「小川保育園」にて手洗い教室を開催しました。

「手あらいのうた」で楽しく手洗いをみんな上手に手洗いが出来るようになりました!

指導員研修会

令和6年8月1日「指導員研修会」を開催しました。

指導員部会長の仲本明さんによる「HACCPについて」の講話から始まり、指導員へ事前にアンケートを行った「日頃の巡回指導で疑問に思っていること」について、宮城健専務による回答と説明を行いました。

当日も多くの質問が飛び交い、とても有意義な研修会となりました。



北部支部

食品衛生協会北部支部活動報告

今年も1月の本部町・名護市・今帰仁村の桜祭りを皮切りに、出店・キッチンカー等、数多くの飲食店がイベントを盛り上げていました。

北部支部では催しの規模に応じて、定例会やLINE等を活用し、指導員による連携を図り、巡回指導を行って参りました。本年度は、通常の指導に加えHACCPに準じた項目も増え、より一層の衛生管理が求められています。さらに営業者様からの質問等に対応する為、我々指導員としても、益々知識を蓄えないといけないという意識を強く感じております。

7月には日本食品衛生協会・九州支部ブロック大会が、宜野湾市の沖縄縄コンベンションセンターで開催されました。北部支部からも打ち合わせ等から関わり多くの指導員が参加し、交流を深めました。

そして、本年度も食品衛生調査指導目標(640件)を達成し、北

部支部管内の食の安心・安全とHACCPの普及・促進を強化して行きます!



那覇支部

『食品衛生月間セレモニー』開催！

令和6年8月1日～31日までの食品衛生月間行事の一環として、8月1日に「令和6年度食品衛生月間キャンペーン」を5年振りに、那覇市保健所・（二社）沖縄県食品衛生協会那覇支部合同で「那覇市第一牧志公設市場」にて開催しました。

セレモニー後は、食品衛生監視及び食中毒予防のチラシ配布等を行うほか、公設市場の入口に手洗い教室を設置し、通行人に手洗い指導など行うことにより、食品衛生月間の趣旨を広く市民に啓発することができました。



宮古支部

活動報告

2024年度(令和6年)の食品衛生協会宮古支部の活動状況をお知らせします。今年度も引き続き、食品衛生の向上と安全確保を目指し、各種取り組みを実施して参りました。

今年の夏、宮古島における多くの野外イベントにて食品衛生の巡回指導を実施しました。特に、夏季は高温多湿な気候により食品の取り扱いにおけるリスクが高まるため、各イベント会場で適切な衛生管理が行われているかを確認し、指導を行いました。これら巡回指導により、第1四半期と第2四半期の合計で今年度の目標件数の半数をすでに達成し、引き続き目標達成に向けて取り組んでおります。

令和6年度8月の食品衛生月間に伴い、宮古保健所と協力し、食品衛生思想の普及啓発活動を行いました。キャンペーンは8月14日にサンエーショッピングタウン宮古で実施し、宮古保健所や食品衛生指導員が参加し、食中毒予防のチラシ配布等を通して、県民に食品衛生の重要性を広く呼びかけました。

主な活動内容は以下の通りです
場所…サンエーショッピングタウン宮古

・日時…令和6年8月14日(水)
午後4時～5時

・内容…食中毒予防チラシの配布(100部)、食品衛生に関する啓発活動

この活動は、県内外から訪れる多くの観光客に対しても食品衛生の意識を高め、島全体の安全性を確保する重要な取り組みとなりました。引き続き、県民とともに安全で安心な食環境を守るため、宮古支部一同努力してまいります。

引き続き、食品衛生の推進にご協力いただければ幸いです。皆さまのご支援とご理解に感謝申し上げます。



中部支部

厚生労働大臣賞受賞合同祝賀会

令和五年度はコロナ感染流行の中で大臣賞の受賞を受けた方が二人、今年も一人で、例年であれば一人ずつ祝賀会を開催するところですがそれも叶わず合同で祝賀会を開催する事になりました。この様に合同で開催出来る事は幸いと思えます。三月五日午後六時から二ホンブライダルセンターNBCにて行われました。受賞者は宜野湾地区指導員宮里朗・うるま地区指導員照屋和子・うるま地区指導員安田泰治、宮里氏は家業のみやざと製菓を営みながら宜野湾地区地区長・中部支部理事・県本部理事を務め常に先頭に立ち後進の育成を行い、地域の商工会でも活躍しております。照屋氏はうるま市春日観光ホテルの副社長を務めながらうるま地区で巡回指導も活発に行い支部に置いては共済部会委員で活躍しております。安田氏は家業の泰石酒造において沖縄で唯一の日本酒の製造を行いながらうるま地区で巡回指導を行い地区での会計を務め支部に置いては広報部会委員と理事も務めております。



各自、自身の勤めを果たしながら食品衛生指導員をし、地域において信頼を得ることで食品衛生の普及に貢献が認められ、今日の受賞は本支部の食品衛生指導員にとっても大変栄誉な事です。これから益々活躍される事を願います。

八重山支部

支部設立四十周年

記念式典・記念誌発刊・会員親睦グラウンド・ゴルフ大会

一般社団法人沖縄県食品衛生協会八重山支部は昭和五十八年六月三十日に設立し、令和五年に設立四十周年を迎えました。四十周年を記念して式典及び記念祝賀会を執り行いました。式典では、歴代支部長や創立以来の会員である事業者に感謝状を贈呈しました。四十周年記念事業として、会員親睦グラウンド・ゴルフ大会を行い大勢の会員に集まっていた盛りに上がる大会でした。また今までの歩みの記録を兼ね、四十周年記念誌を発刊いたしました。



▲支部役員紹介する場面



▲設立40周年記念事業 会員親睦グラウンド・ゴルフ大会



▲永年会員感謝状贈呈



釣ってきたその魚 本当に食べて大丈夫？

県内でシガテラ食中毒が多発しています！

シガテラとは、熱帯・亜熱帯のサンゴ礁の周辺に生息する魚によって起こる食中毒の総称です。食中毒の原因はシガトキシンなどの天然毒です。シガトキシンは、海草などに付着する渦鞭毛藻（うずべんもうそう）と呼ばれる微細藻の一種によって生産され、その微細藻を魚介類が食べ、食物連鎖によって魚の毒化が起こります。

【資料：沖縄県HP「シガテラ食中毒」より抜粋】

シガテラに関する言い伝えの検証

01 冷凍保存すると 毒はなくなる

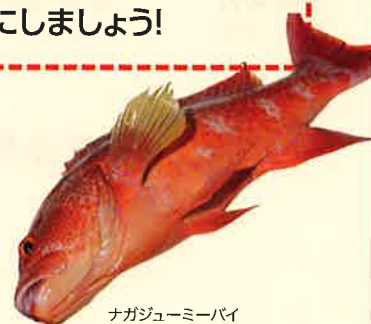
結論 冷凍保存でシガトキシンは
減少しない

冷凍保存前と保存後の毒量比較
(1MU=20gの雄マウスを24時間で死亡させる毒量)

魚種	冷凍保存期間	保存前と保存後の毒量変化
アカマダラハタ	5ヶ月	13MU/g(保存前)→13MU/g(保存後)
イッテンフエダイ	1年	5MU/g(保存前)→6.7MU/g(保存後)
イシガキダイ	4年5ヶ月	16.5MU/g(保存前)→19MU/g(保存後)

シガテラ予防の注意点

魚種や魚の大きさが不確
かな場合は、シガテラ予
防のためにも、食べない
ようにしましょう！



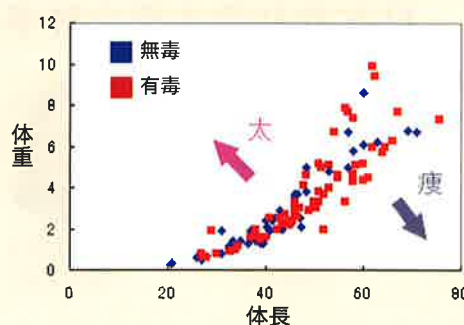
ナガジューミーバイ

02 痩せた魚は有毒である

結論 太った魚と痩せた魚の間に、
差はない。



パラフエダイ

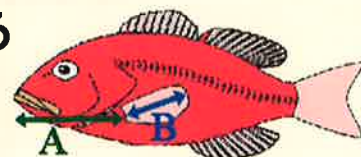


03 胸びれを逆に曲げたとき、それが 口の先より飛び出る魚は有毒である

結論 明確な差は見られない。

B/A値の比較

	パラフエダイ	イッテンフエダイ	バラハタ
有毒魚	0.65~1.05(平均0.84)	0.62~0.96(平均0.74)	0.59~0.64(平均0.62)
無毒魚	0.69~1.00(平均0.83)	0.63~1.00(平均0.62)	0.47~0.75(平均0.64)



令和5年度

厚生労働大臣表彰

食品衛生功労者

安田 泰治
(中部支部)與那嶺 勝
(北部支部)

日本食品衛生協会会長表彰

食品衛生功労者

新盛 和枝
(八重山支部)仲元 清
(中部支部)高江洲 昌巳
(那覇支部)外間 喜仁
(南支部)與那国 英雄
(八重山支部)大城 武
(南支部)

日本食品衛生協会会長表彰

食品衛生行政担当者

多田 雪宏
(中央食肉衛生検査所)高木 祐司
(中央食肉衛生検査所)宜保 公子
(中央食肉衛生検査所 南部保健所)

日本食品衛生協会理事長表彰

食品衛生指導員

渡慶次 孝子
(中部支部)松原 香代子
(八重山支部)米須 敬
(那覇支部)砂川 昭範
(宮古支部)

厚生労働省医薬・生活衛生局長表彰

伊波 幸美
(中部支部)安慶名 恵津子
(中部支部)